

令和8年度 江戸川区立上一色南小学校 学校説明会 資料



次 第

- 1 開会の言葉
- 2 校長より学校経営方針説明
- 3 上南小の教育活動について
- 4 生活指導について
- 5 特別活動について
- 6 校内研究について
- 7 質疑応答
- 8 閉会の言葉

上一色南小学校の学校教育活動

教務部

あかるい子をはぐくむために

- 生活指導・スクールカウンセラーによる教育相談・特別支援教育、関係機関と連携した支援の充実
- 高学年による「あいさつ運動」
- 「豊かな感性」の育成
 - 音楽・図工の授業、音楽集会、クロッキータイム、クロッキー展、学習発表会、展覧会、やきもの展、音楽会、年間5回の俳句づくり等

かしこい子をはぐくむために

- 年間を見通した指導計画・指導と評価の一体化
 - ・本校の実態に沿った年間指導計画による指導
- 基礎・基本の定着
 - ・「上南スタンダード（学習の基礎・基本）」の徹底
 - ・「習熟度別少人数指導（算数）」を3年生以上で実施
 - ・「EDO スク（放課後補習教室）」の実施
- 読書科
 - ・朝読書や読書活動、図書ボランティアによる読み聞かせの実施
 - ・図書館司書との連携
- 教科担任制（主に中・高学年の一部の教科で実施）
 - ・専門性を生かした指導による理解の促進
- 外国語（英語）における専門講師とALTの活用
 - ・外国語専門講師とネイティブ講師による授業展開
- ICT機器の活用
 - ・区から貸与されているタブレット（iPad）を活用した学習の推進
 - ・児童一人一人の習熟度の応じた「ドリルパーク」の活用

○校内研究・指導法研修・OJT 等

- ・「問題解決型」の授業づくりの研究（低学年・中学年・高学年で年1回ずつ）
- ・「OJT 研修」の充実

なかよくする子をはぐくむために

○地域交流（都立鹿本学園との交流）

○異学年交流活動の充実

- ・なかよし班（たてわり班）活動
- ・1年生を迎える会、6年生を送る会 等

たくましい子をはぐくむために

○体育的活動の充実

- ・らんらんフェスティバル（年2回の持久走大会）、かみなんタイム（短なわを使った運動）、長なわ集会

○健康で安全な生活づくりへの取組

- ・月1回の避難訓練、安全指導、年1回の防犯訓練やセーフティ教室（ゲストティーチャーを招いての SNS にかかわる犯罪被害防止の授業）、歩行者シミュレーターを活用した交通安全教室 等

※「自分の身は自分で守る」資質・態度・実践力の育成

本校の生活指導について

生活指導部

1 「上南スタンダード」の意識づけ

■「上南スタンダード」とは、「チャイム着席」「話を聞く姿勢」「発表の仕方」などを、低学年から、どのクラスでも同じように共通実践することにより、学びの環境を整える取組です。

2 「7つの合言葉」の意識づけ

■「7つの合言葉」とは、自分自身の生活を見直して、基本的な生活習慣を身に付けるために児童が取り組む毎月のふりかえりです。

- ・早ね 早起き 朝ごはん
- ・あいさつは 大きな声で 元気よく
- ・時間を守って しっかり勉強
- ・わすれない 宿題 持ち物 やさしい言葉
- ・お話は 終わりがかんじん 最後まで
- ・おやくそく きまりを守って みんなニコニコ
- ・ピカピカと みがくと光る 教室ろう下

※楽しく学校で活動できるように、「朝の時間を中心に、【家庭でも取り組めること】」を、御家庭でも意識して取り組んでください。

3 「あいさつ運動」

■毎朝、登校時間に「♪挨拶は魔法の力」という曲を流しています。

「一人一人の勇気・力が、みんなを変える。あいさつは魔法の力。あいさつで、このまち変えよう」という歌詞が明るいメロディーと共に流れます。気持ちよく「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子。ひいては「思いやりのある子」が増えていくように、日々取り組んでいます。

4 「食育指導」

■「給食」も学校生活における大きな楽しみの一つです。栄養バランスはもちろん、季節や郷土のメニュー、世界のメニュー、アレルギーや健康に配慮した給食となっています。食べるごとに「食」に関する興味がわいてくるような給食を目指しています。

5 「特別支援教育」

■特別支援教育の一環として、コミュニケーションスキルを高めたり、自立支援の指導を行ったりする「いぶき学級」（巡回指導）を週1回行っています。一人一人の個性が活かされる学校を目指しています。

■個に応じたケアを充実するために、SC（スクールカウンセラー）が配置されています。子どもたちも保護者の皆様も気軽に話をしたり、相談したりすることができます。

6 「情報のすばやい対応」をめざして

■メール配信ソフト「tetoru（テトル）」の活用

学校からのお知らせ（学校だより、学年だよりなど）、教育委員会からの不審者情報や事故の情報などの提供は「tetoru」で行います。

本校の特別活動について

特別活動部

特別活動における本校の特色

◎異年齢集団（なかよし班）活動

- ・異学年の活動を通し、よりよい人間関係をつくりあげていくために、全学年が所属する「たてわり班（なかよし班）」を編成し、年間を通して活動していく。

<なかよしタイム>

- ・月1回を原則として、6年生（班長）を中心に遊びの計画を立て、班ごとに活動する。

<クロッキー集会>

- ・学年順にモデルを決め、班ごとにクロッキーを描く。
- ・年に2回、クロッキー展（前期10月、後期2月）を行う。

<6年生を送る会>

- ・5年生が中心になって計画を立て、在校生が6年生の卒業をお祝いする会（2月末に実施予定）を行う。

◎クラブ活動（4年生以上）

- ・児童が興味・関心をもつ活動について、異学年で協力して計画を立て、一年間活動する。
- ・児童が主体となって、活動の計画を立てたり、異学年で協力したりする中で、健全な自主性と豊かな社会性を養い、個性の伸長を図る。

◎委員会活動（5年生以上 代表委員会は4年生以上）

- ・自分たちの学校生活を向上させようという意図のもとに、学校生活に関する諸問題を解決する活動、及び、学校内の自分たちの仕事を分担処理する活動を自発的・自治的に行うことで、自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。

◎上南の子まつり（昔あそび集会）

- ・今の遊びの中にはほとんど見られなくなった「こま回し」「お手玉」などの昔あそびを行う。昔あそびを行う中で、その良さを感じ、特性に触れ、集団で競い合ったり楽しんだりする「心地よさ」を知る。また、5・6年生は下級生のお世話をする経験を通して、「リーダーシップ」を高める。さらに、地域の方や保護者とのふれあいの中で「豊かな人間関係」をつくる機会とする。

令和8年度 校内研究

研究主題

進んで考え、課題解決の楽しさを実感できる児童の育成

副主題

～読み解く力を高める国語科・算数科の授業づくり



◇◆◇校内研究とは◇◆◇

- ・本校の児童の実態から、身に付けさせたい力を取り上げて研究をする。
- ・どのように指導をすれば、児童に必要な力を身に付けさせることができるのか、日々の授業の進め方や日常活動の在り方を考えていく。
- ・低、中、高学年分科会に分かれて教材研究や授業づくりを行う。
- ・研究授業を行い、授業改善と授業力向上に努める。
- ・講師を招き、指導を仰ぐ。

◇◆◇上一色南小学校の研究◇◆◇

【課題解決型学習（3段階の授業過程）】

◇わかる（課題の把握）

問題に興味・関心をもち、課題把握ができる。

◇考える（自力解決・かかわる）

課題を解決する見通しをもち、自分の考えをもつことができる。

友達の考えから、意図的に学ぶことができる。

◇できる（まとめ・適用問題）

学んだことを表現したり、活用したりできる。

【今年度の研究計画】

- ・年間3回（低学年・中学年・高学年で1回ずつ）の研究授業実施
- ・毎月、研究推進委員会、及び各分科会の実施

学習意欲にあふれ、思考力や表現力を働かせて新たな課題を解決していこうとする児童

基礎基本をもとに、考えたり読み解いたりすることができる児童

目指す児童像

目的意識や見通しをもち、筋道立てて考えることができる児童

友達とかかわり合い、自分の考えをさらに広げたり、深めたりすることができる児童